

第6節 診療放射線技師・診療エックス線技師

現状と課題

医療施設に勤務する診療放射線技師数・診療エックス線技師数は増加傾向にあり、人口10万対で全国水準を上回っています。

また、医療機器別1週間取扱延件数をみると、放射線関連機器の普及や新しい検査機器の導入等により、取扱件数の増加がみられます。

今後、高齢化の進展に伴う生活習慣病患者の増加や、医療技術の進歩に伴う診療放射線業務の高度化・多様化および業務量の増加が予想されるため、高い能力をもった診療放射線技師・診療エックス線技師のより一層の確保が必要です。

医療機器別1週間取扱延件数

	平成8年	平成11年	増加率(倍)
デジタルラジオグラフィー	195	1,926	9.9
血管連続撮影装置	94	120	1.3
全身用CT	2,702	3,094	1.1
R I 診断装置	224	175	0.8
MR I	936	1,190	1.3
計	4,151	6,505	1.6

※取扱延件数は各年9月24日から9月30日までの数。〔平成11年医療施設調査〕

施策

高度化・多様化する診療放射線業務や、早期発見・早期治療を目指した検診業務に対する需要の増大等に対応するため、診療放射線技師・診療エックス線技師のより一層の確保に努めます。

具体的には、より高度な知識技能の修得のため、関係団体が実施する研修に協力していきます。

【用語の解説】

● デジタルラジオグラフィー

人体を透過したX線の強度分布を検出し、これをデジタル信号に変換してコンピューターによる処理を加えるもの。